

平成 26 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	02	01	06	0412	山の駅・昭和の学校整備事業	
総合計画	分野	地域づくり				
	政策	4-1	地域主体のまちづくり			
	施策	1	地域づくりへの参加促進			
目的	湯口大沢、下し沢、鉛地区の地域活性化及び市の交流人口の増加					
対象	地域住民、花巻市を訪れる観光客					
意図	地域住民、観光客の満足度の向上					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
【H25】 ・閉校した旧前田小学校を「昭和の学校花巻校」として利用するための必要な修繕を行った。 ・「昭和の学校花巻校」来館者や豊沢地区への観光客の利便性向上のため、校庭の一部を舗装し駐車場を整備した。						
【H26】 ・山の駅利用者や、大空滝、ブナ原生林への観光客の利便性向上のため、校舎内トイレの洋式化を行う。 ・駐車場や校庭については、地域住民による産直施設の建設や昭和の学校と一体となった地域イベントでの活用を促し、地域の活性化と観光客の滞留を図る。						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催		実行委員会・協議会		
		後援・協賛		補助・助成		
				○ 事業協力・協定		
				委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①	地域主催によるイベント開催	回	計画		4	
			実績		1	
②	昭和の学校花巻校PR活動回数	回	計画		3	
			実績		1	
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(計画)
①			目標			
			実績			
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
目的妥当性	公共関与の妥当性 ○ 妥当である 見直し余地がある 妥当でない	「昭和の学校花巻校」を中心として、地域の活性化を促すとともに花巻南温泉峡や大空滝などの豊沢地区への観光客への利便性向上及び市の交流人口の増加を図る施設であり、公共性が高いものである。
有効性	成果の向上余地 ○ 向上余地がある 向上余地がない	駐車場の整備、既存トイレの洋式化により、利便性が向上し、利用者の増加が見込まれる。
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある ○ どちらも削減余地がない	必要最小限の整備であり、NPO法人、地域との連携によりコストを抑えた維持管理を行うこととしている。
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある ○ 適正である	地域の活性化を通じて交流人口の増加を図る施設であり、受益、費用負担の観点から公平である。
総合評価 …上記評価結果の総括		
<p>旧前田小学校の活用について、地域からは市が施設を整備し運営することを要望されていたが、協議を重ねたところ、昭和の学校であれば、地域でも連携、協力し地域の活性化が図られるとの観点から、協定を締結し、立地することとなったものである。</p> <p>今後は、それぞれの役割に沿って地域の活性化及び交流人口の増加に努める。</p> <p>昭和の学校の役割 市の交流人口の増加、経済波及効果に努める。 地区内の文化・観光振興に努める。</p> <p>市の役割 校舎と屋内運動場を昭和の学校に貸し付ける。 山の駅・昭和の学校を市内外に情報発信する。 山の駅として、駐車場・トイレを整備する。</p> <p>地域の役割 昭和の学校との連携・協力を通じて地域の活性化に努める。 産直施設の運営母体を検討する。</p>		

平成 26 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	02	01	06	0412	山の駅・昭和の学校整備事業

単位：千円

		25年度 決算額(A)	26年度 決算額(B)	27年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費		19,004	20,161		1,157
財源内訳	国・県		16,707		16,707
	地方債				
	その他		231		231
	一般財源	19,004	3,223		△ 15,781

事業期間 単年度繰返 期間限定 [平成 25 年度 ~ 平成 26 年度]

部経営方針における目標

地域主権のまちづくりを進めます

事業開始の背景・経緯

廃校となった旧前田小学校の利用について地域と協議の結果、「山の駅・昭和の学校花巻校」として活用することとなり、NPO、地域代表、市の3者で協定を締結した。

事業概要

【H25】
 ・閉校した旧前田小学校を「昭和の学校花巻校」として利用するための必要な修繕を行った。
 ・「昭和の学校花巻校」来館者や豊沢地区への観光客の利便性向上のため、校庭の一部を舗装し駐車場を整備した。

【H26】
 ・山の駅利用者や、大空滝、ブナ原生林への観光客の利便性向上のため、校舎内トイレの洋式化を行う。

・駐車場や校庭については、地域住民による産直施設の建設や昭和の学校と一体となった地域イベントでの活用を促し、地域の活性化と観光客の滞留を図る。

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

湯口区長会、湯口区長会要望等委員会から、産直施設、休憩場所などの設置及び運営を求められている。
 当面、既存の自転車置き場や仮設テント等を活用することとし、昭和の学校の入館者の状況等を見ながら今後地域と行政で協議をしていくことで合意した。

担当部署 部名 総合政策部 課名 地域づくり課 担当係長 佐々木 学 内線 454

(単位：千円)

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
 【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】

【山の駅・昭和の学校整備に係る経緯】

- ・平成24年3月に廃校となった前田小学校については、湯口地区の地域活性化施設としての利用を湯口地区区長会などから要望され、地域との協議を重ねてきたところ、はなまき産業大博覧会に昭和の街並みを再現した「NPO法人いわて・ふるさと倶楽部」から、体育館を含めた施設全体の利用について申し出があり、地域との協議も整ったため貸付することとなった。
- ・「昭和の学校」は現在宮古市で開校しているが、地域の活性化はもとより市の交流人口の増加が図られる施設と考えられ、市では敷地全体を「山の駅」として整備し、「昭和の学校」利用者だけでなく、花巻南温泉峡や豊沢への観光客、地域住民が利用できる駐車場、トイレを整備するものである。
- ・今後、地域での産直施設の運営や「昭和の学校」と一体となったイベントの実施などが見込まれ、湯口地区の新たな地域活性化施設としての活用が期待できる。

【整備実績】

年度	内訳	事業費	備考
H25	駐車場舗装	19,004	
	計	19,004	

H26	11	電気料	601	
	11	水道料	146	
	12	建築確認手数料	48	
	13	飲料水槽清掃	67	
	13	案内板設置	324	
	13	校舎改修工事管理	788	
	13	校舎改修実施設計	2,268	
	15	校舎改修工事	15,919	
	計	20,161		